



令和6年3月議会定例会は、3月1日から15日までの日程で開かれました。一般質問は5・6日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。
議案審議は15日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。

今議会でも可決された議案など

紙面の都合上、一部省略しています

令和5年度 一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6億3162万円増額し、総額176億5712万8千円とする。

令和6年度 一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ130億9300万円と定める。

令和6年度 国民健康保険特別会計予算

飯館村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

令和6年度 介護保険特別会計予算

飯館村手数料徴収条例の一部を改正する条例

令和6年度 後期高齢者医療特別会計予算

飯館村指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

令和6年度 簡易水道事業会計予算

令和6年度 農業集落排水事業会計予算

飯館村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

約25.8%です。これに、震災後の転入者268人と、いたてホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は809世帯で15333人です。

避難を継続している方は、県外に156人、福島市に1973人、南相馬市に278人、伊達市に241人、川俣町に227人など、合わせて2982人です。

マイナンバーカード

国では、ほぼすべての国民がマイナンバーカードを保有するよう目指しており、令和6年秋頃までにマイナンバーカードと健康保険証を一体化する方針が示されています。

1月末現在、村の申請率は8割を超えているものの、交付率は74.5%です。村では、広報紙や全戸チラシによる広報だけでなく、地域サロンや企業等への周知活動、職員による出張申請など、カード取得の推進に向けて、取り組んでいます。

新型コロナウイルス接種

今年度の秋接種については、初回接種を終了している生後6か月以上の方が対象で、そのうち12歳以上については2月までに村内「いちばん館」で集団接種を7回実施

し、1210人の接種が完了しています。「いちばん館」での集団接種と避難先自治体での接種を合わせると、2月27日現在で1836人の接種が完了しています。

出産に対する支援について

妊婦や子育て家庭への支援策として、妊娠時5万円、出産時5万円を給付する「出産子育て応援支援金」に加え、今年度からは新たに出産時に20万円を給付する村独自の「赤ちゃん誕生祝い金」を創設しており、これまでに3名の方に計60万円を支給しています。

あぶくまもち

昨年収穫されたうち約10トンの「あぶくまもち」が、前回に続き株式会社セブンイレブンジャパン協力のもと、おこわおにぎり2商品に加工され、村内ほか県内中通りのセブンイレブン各店舗で販売されました。販売期間を令和5年11月28日から12月25日と予定していましたが、予定より1週間早く12月18日出荷分で完了しました。村では来年度以降もさらに生産量の増加を目指

し、村の特産品「あぶくまもち」の生産を進めていきます。

木質、バイオマス施設等緊急整備事業

プラントの建設工事は予定どおり進捗しており、今年度中に概ね完成の予定です。なお営業運転開始時期については受電工事の関係で、当初令和6年春としていたものが、同年7月に変更となります。今後は4月中旬にボイラーへの火入れを行い、性能確認のための試運転を行うなど、7月からの営業運転開始に向けて準備が進められる予定です。

ふくしま森林再生事業

林業の活性化を図るため、間伐等の森林整備とその実施のための放射性物質対策を行う「ふくしま森林再生事業」について、今年度は草野及び深谷、二枚橋地区において約90haの森林整備事業を発注しています。

また今年度より広葉樹林の再生を目的とした広葉樹林再生事業にも取り組む、宮内地区で2haの森林整備事業を発注しています。

紙面の都合上、一部省略しています

村長村政報告

能登半島地震 災害派遣

能登半島地震による大規模災害発生に対し、福島県ではかねてより災害時相互協力協定を富山県と結んでおり、村からはこの協定に基づき1月15日から1月21日まで、2名の職員を富山県氷見市に派遣しました。現地では、氷見市の職員及び福島県から派遣された職員とチームを組み、主に被災家屋の被害判定の業務に従事しました。今後も、福島県と連携しながら被災地の復興支援に取り組みしていきます。

飯館村生活応援商品券

物価高騰に対する家計への支援及び地域経済の活性化を目的とした「飯館村生活応援商品券」は、1810世帯を対象として、1世帯あたり3万円分、総額5430万円分の商品券を配付しました。

村民の帰還状況

2月1日現在の村への帰還者は631世帯、1207人で帰還率は

建設関係

村道小滝大倉線の災害復旧工事は、今年の3月末には工事が完了し、4月から通行可能となる予定です。少しでも早い開通に向けて取り組んでいきます。

河川の除草事業は、村で管理している普通河川17路線、延長18.3kmにおいて作業が完了しました。

営農再開支援水利施設等保全事業による「ため池施設」の補修等は、5か所(笠石、仲下、長橋、谷地向、福田)のため池の施設補修を進めており、年度内に完成する予定です。

ため池の放射性物質対策工事は、今年度12か所(市沢第1、野沢、鉄柄、沼平、山鳥沢、新堤、佐須、佐須第2、笹峠第2、カヨウ、菅田第1、菅田第2)のため池が完了しました。

農業基盤整備促進事業は、村内16行政区(深谷、佐須、長泥、蔵平を除く)において、各行政区の工事協議担当者や地元住民と密に協議をしながら鋭意進めています。